

便潜血検査結果が陽性だった方への御案内

(1) 便潜血検査とは？

現在は免疫法で行われるため食事の内容に影響を受けず、下部消化管（主に大腸）に微量でも出血があるとヘモグロビンと反応して陽性となります。

主に大腸の出血性病変の診断に有効です。

市区町村の「大腸癌検診」はこの「便潜血検査」のことです

(2) 便潜血検査陽性の原因は？

痔などの肛門出血や大腸ポリープ・大腸憩室・大腸炎でも陽性となりますが、3%前後に癌が原因であることが分かっています。

早期大腸癌の50%前後、また進行癌では90%近く陽性となることも知られています。ただし、半数近くは特別な病変・異状がなく陽性になることも知られています。

(3) 便潜血陽性の場合どうするか？

出血の原因を明らかにするためには「大腸内視鏡検査」が必要です。

「上部内視鏡検査」はいわゆる胃カメラで食道・胃・十二指腸の検査を意味し、「下部内視鏡検査」は肛門から細い内視鏡を入れて直接詳しく全大腸を調べる検査です。

(4) 胃カメラと大腸内視鏡検査の手順の違いは？

胃カメラの場合は当日絶食で検査可能ですが、大腸内視鏡は前日の食事内容の制限・当日大腸をからっぽにする為洗浄液の飲水が必要です。

原則的に入院の必要はなく短時間の外来検査です。

(5) 検査手順や麻酔などの使用について

検査予定が決まると事前に案内書を送付します。(食事・服薬などの注意事項)

鎮静剤や軽い麻酔を希望される方は当日ご相談下さい。また、ポリープなどの切除を同時に行う場合は1泊入院が必要となります。

(6) どこで大腸内視鏡検査を行ったらよいか？

当クリニックでは上部内視鏡（胃カメラ）のみ行っています。

大腸検査は関連施設「立川中央病院」にて検査を行っています。御利用下さい。

(7) 「立川中央病院での大腸内視鏡検査」予約方法

ご予約は健康クリニック内予約センターで承っております。

電話：0120-703-489

受付時間 月曜日～土曜日 AM9:30～11:30 PM12:30～15:00